

講師プロフィール



福岡県警察本部生活安全部少年課
北九州少年サポートセンター 統括係長
少年育成指導官

やす なが さと み
安 永 智 美

1963年福岡県北九州市生まれ。子どもを犯罪の被害者にも加害者にもしないための少年相談や立ち直り支援、講演活動等を行っている。

担当する少年少女からは、サポレンジャー（サポートセンター）の「レッド隊長」の名前で親しまれ、子どもたちのよき相談者として心の声を聴き、受け止めている。

○ 職 歴

1984年から12年間福岡県警察官として勤務。

1996年に少年非行やいじめ、家庭内暴力など様々な少年問題に対応する少年育成指導官に転身し、現在、北九州少年サポートセンター統括係長。

○ 社会における活動

独立行政法人科学技術振興機構 社会技術研究開発センター 研究開発プロジェクト「子どもを犯罪から守るための多機関連携モデルの提唱」（研究代表者：石川正興早稲田大学法学学術院教授・社会安全政策研究所所長）の研究協力員として活動し、同プロジェクト推進に努めた。

法務省国連アジア極東犯罪防止研究所主催の「国際研修会」において、海外の司法機関関係者に対して、「子どもたちを犯罪の被害者にも加害者にもしないための多機関連携」をテーマに講義し、子どもを非行から守る福岡の取り組みについて、海外に向けて情報発信を行った。

○ 著 書

「言葉ひとつで子どもは変わる！」PHP 研究所

※ 同書は完売したため、電子書籍化されました。

同書の内容は、未来を担う大切な子どもたちを犯罪の被害者にも加害者にもしないために、少年サポートセンターで出会う子どもたちの「問題行動の根っこ」をリアルに伝え、家庭や学校、地域の関わりについて、大切なメッセージを発信している。

ひとりの子どもの立ち直りが 社会の未来を変える

～少年育成指導官として考えること～

福岡県警察生活安全部少年課
少年サポートセンター
少年育成指導官 安永 智美

はじめに

○自己紹介

警察官として12年間の勤務を経て、少年問題を専門とする少年補導職員に転身。

現在、福岡県警生活安全部少年課
北九州少年サポートセンター統括係長。

担当する少年たちからは、子どもを守るサポレンジャーの「レッド隊長」と呼ばれている。

ウェルとばた



ウェルとばた 5F



少年サポートセンター
(警察)

警察OB・校長OB

少年サポートチーム
(教育委員会)

学 校 (校長)
(教頭)
(教諭)

ウェルとばた 5F

少年サポートセンター
(警察)

警察官	2人
少年補導職員	2人
学校教師	1人

主に非行や犯罪に関係する少年に対応

《 ワンストップであることのメリット》

- 人事交流と仕事の様子を垣間見る
ことによる相互理解

～ヒューマンネットワークの構築～

- 同一フロアーでの実務者レベルの
スタンドミーティングや
フェイスtoフェイスの行動連携へ

機関の集中 + 人事交流



情報・経験の集中 → スキルの蓄積



即時性のある適切な支援

警察の役割

非行から子どもを守る

抑止

- ・犯罪の取締り
- ・検挙

予防

- ・少年相談
- ・広報啓発
- ・立ち直り支援

少年サポートセンターの特色 「攻めの活動」

- ・「待つ」ではなく「動く」相談
非行の相談にまず必要なのは《機動力》
支援のテーブルに繋ぐ”存在”
- ・予防教育は非行少年を作らないための「先制活動」
脅かし教育ではなく《心のゆさぶり》
キーワードは「自尊感情を育む」
子どもたち以上に親への啓発が必要《親子で参加》

子どもをとらえる視点

問題をおこす子ども・親

困った子ども・親

子どもをとらえる視点

問題を抱えている子ども・親

困っている子ども・親

非行少年→不幸少年

問題行動の「根っこ」とは

指導
検挙

暴力

自傷行為

盗み

売春

薬物

ケア

不安・怒り

寂しさ・悲しさ

連携事例から

～多機関連携で救える子どもたち～

○虐待



○いじめ



○非行



～多機関連携で救える子どもたち～

虐待事例（シンナーは生きる薬だよ）



～多機関連携で救える子どもたち～

いじめ事例（生きててよかった）



～多機関連携で救える子どもたち～

非行事例（半分でいいから愛して）

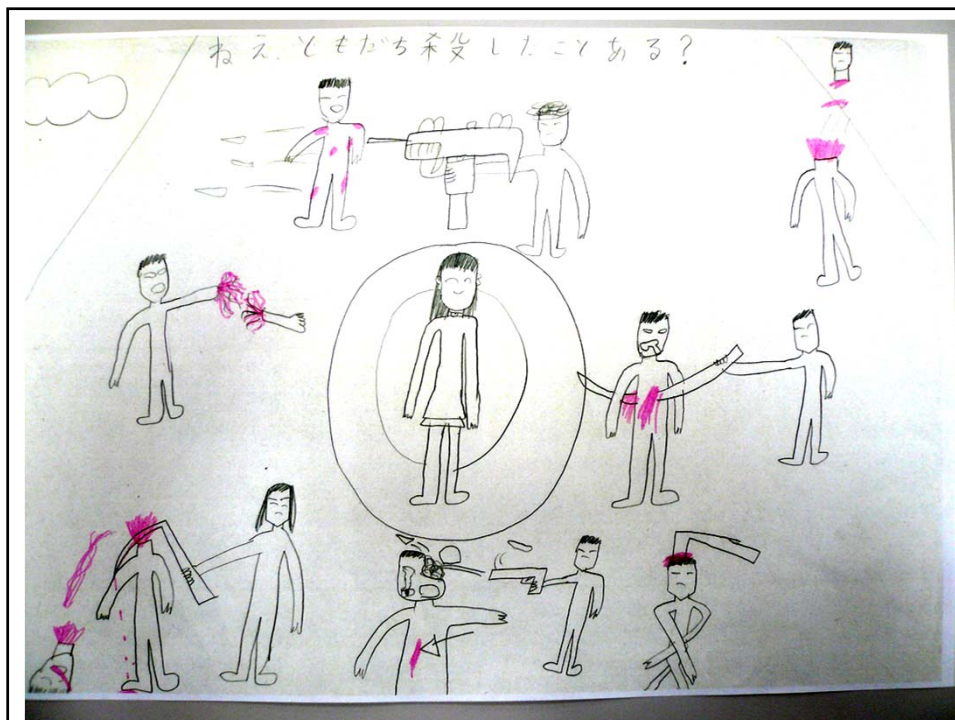


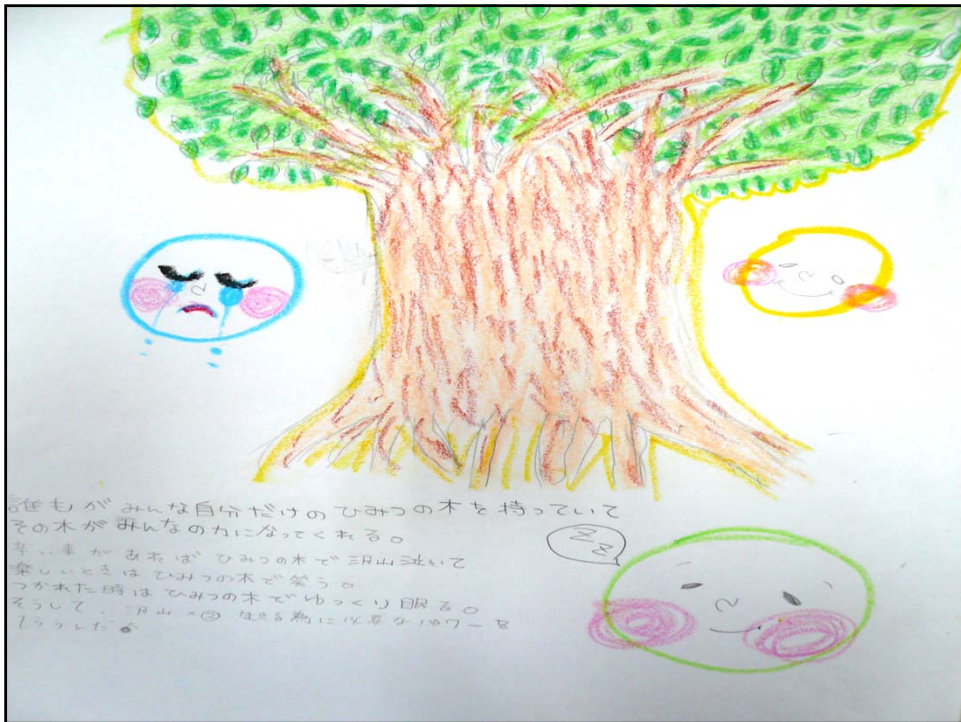
特異事案を多機関連携で救う

～殺したい・死にたい～

ケース1 「お母さんに消えてほしい」

ケース2 「生きててもいいのですか」





立ち直り支援を考える

- 三つの苦行
～許す・信じる・待つ～
- 最悪の出会いから、
「出会えてよかったね」へ
- 心の扉を開く鍵
～あなたの笑顔が見たい～

連携を深めるための今後の課題

人としくみ(制度)を育てる

- 人が繋がる・守られる・活かされる
- 自己の専門性+相手のニーズに応える感性
- 行動力のガソリンは…

～熱意「この子のために」～

私たちは、これからも多くの子ども達と
出会います。

子ども達は、どんな大人と出会うかで
未来が変わります。

ひとりの非行少年の立ち直りが社会の
未来を明るくします。

私たちの出来ること、やるべきことを
皆様と力を合わせ、ベストを尽くしましょう。
これからもよろしくお願い致します。